

日本共産党創立102周年記念講演

いま日本を変える歴史的チャンス——暮らし・平和・人権、そして未来社会

2024年7月13日 日本共産党幹部会委員長 田村智子

1、暮らし・経済——アベノミクスがもたらした「どんづまり」。『暮らし応援』の「経済再生プラン」で政策の転換を

——「生活が苦しい」が過去最悪の6割——アベノミクスの12年の結果

——大企業と富裕層に巨額の利益が流れ込んだ

——「トリクルダウン」（大企業の利益優先）から「ボトムアップ」（暮らし優先）への大転換が、経済再生・暮らしに希望の道

——職場のたたかい、各分野の運動を広げてこそ実現できる

【職場のたたかい、闘う労働組合とともに】

【若者たちの新たな運動——学費値上げ反対、学費半額・無償化へ】

2、平和——強権政治で「平和国家」のあり方を根底から壊す暴走。憲法9条にもとづく平和外交を進める日本へと転換しよう

——集団的自衛権の行使容認から10年。立憲主義も「平和国家」のあり方も破壊する暴走に日本共産党が立ち向かっている

——憲法解釈を変える政権は、政治的モラルさえ失った

——「オール沖縄」の不屈のたたかきも、市民と野党の共闘も、強権政治への怒りのなかで生まれた

——「東アジア平和提言」に、共感が広がり、平和運動の発展の力に

3, ジェンダー平等、人権後進国から先進国へ

——人権をめぐる巨大な前進。世界の流れに逆行し孤立する自民党政治

——ジェンダー平等・個人の尊厳を求める大きなムーブメント

——憲法制定77年、憲法守れ、生かせるたたかきが社会を変える

4, 未来社会——資本主義の危機。社会主義・共産主義の展望を語ろう

——資本主義の危機。気候危機が日本社会に重大な影響を与えている

——「人間の自由」こそ社会主義・共産主義の目的であり特質

5, 時代を変える歴史的チャンス——日本共産党への入党をよびかける

以上